

# とよなかの市民活動 共同デスク

2013年1月 発行 第6号

とよなかの市民活動・共同デスク実行委員会

(社福) 豊中市社会福祉協議会  
(公財) とよなか国際交流協会  
(財) とよなか男女共同参画推進財団  
(特活) とよなか市民環境会議アジェンダ21  
(特活) とよなか市民活動ネットきずな(事務局)  
TEL&FAX: 06-6848-8989

## すてっぴ講座

### わたしの防災プロジェクト

～シングル、子育て、高齢  
…暮らしに合わせた女性の  
防災対策を考える～  
日時: 2月17日(木)

14時～16時

場所: すてっぴ



講師: 国崎信江(危機管理教育研究所代表)

阪神・淡路大震災、東日本大震災で、女性は「避難所での不自由さ」「生活再建の困難さ」をはじめ多くの厳しい問題に直面しました。女性が災害時に直面するリスクを共有し、女性の視点で防災を考え、女性一人ひとりが自分を守るための防災対策を実践していくため、女性それぞれの暮らしに合わせた防災対策を考えます。



## (社福) 豊中市社会福祉協議会及び市社協ボランティアセンター 「豊中地域ささえ愛ポイント事業」がスタート

「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」が昨年10月スタートしました。この事業の概要は、豊中市は実施主体となり、介護予防と高齢者同士のささえ合いを目的に豊中市内に居住する満65歳以上の高齢者の方にご登録いただき、介護保険施設等において高齢者支援活動を行っていただくというものです。そして、活動に応じて決められたポイントが貯まり、毎年1回活動支援金として年額最高5,000円が指定口座に振込まれます。12月19日現在、630名が登録しております。

### 「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」の概要

(目的) 活動を希望する高齢者が、何らかの支援が必要な高齢者に社会貢献活動を行うことで、ボランティアの楽しさを知ってもらおうとともに、高齢者自身の介護予防の推進を図る。

また、活動実績に対しポイントを付与することで高齢者の参加意欲を高め、少子高齢化が急速に進展する中、高齢者同士がささえあう新たな地域福祉の人材の育成につなげる。

(対象者) 満65歳以上の市民(豊中市介護保険第1号被保険者)

(対象活動) \* 登録者の受入れを行う豊中市内の介護保険施設等での高齢者支援活動  
\* 豊中市社会福祉協議会 小地域福祉ネットワーク活動の高齢者支援活動  
\* 豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンターの高齢者支援活動  
\* この事業に伴い実施する研修会など

(実施期間) 毎年4月1日(平成24年度は10月1日)から翌年3月31日まで

(ポイント付与基準) 1日1時間程度の活動に対して100ポイントを付与する。

ただし、2時間を超える場合は、1日あたり200ポイントを上限に付与する。

(実施方法)

- ①登録希望者は、「事業説明会」で、この事業の目的や効果と意義をご理解いただいたうえで、「登録申込書」に必要事項を記入して社会福祉協議会に提出し、「ポイントカード」「活動メニュー」などを受け取る。(自動的にボランティア保険Bプランに加入となる)
- ②登録者は「活動メニュー表」を参考に、社会福祉協議会に事前調整(相談等も含む)を依頼し、受入先との調整終了後、施設や地域などで、ささえ愛活動がスタートする。また、ささえ愛活動での更なる学びを得ていただくための研修の参加も呼びかけていく。



## (財) とよなか男女共同参画推進財団 全国女性会館協議会「第6回事業企画大賞」 「豊中女性防災プロジェクト」が奨励賞受賞

昨年度、「とよなか女性防災プロジェクト」として、(社福)豊中市社会福祉協議会、(公財)とよなか国際交流協会、生活協同組合コープ自然派ピュア大阪、男女共同参画社会をつくる豊中連絡会、豊中市PTA 連合協議会母親委員会、豊中市婦人団体連絡協議会、豊中女性防災クラブなど16団体が集まり、それぞれの取り組みを「とよなか女性防災ノート」にまとめました。

この事業が、全国女性会館協議会 第6回事業企画大賞の「奨励賞」を受賞しました。評価されたのは、多様な機関との連携し、それぞれの機関への男女共同参画の意識づけが図られた点で、効果が大きく、今後の地域における発展が期待できる事業」というものです。今後も「女性と防災」について取り組みを進めていきますので、ご支援、ご協力をお願いします。



※「とよなか女性防災ノート」は、すてっぴにて配布しています。2月17日に開催する、上記の講座では、「とよなか女性防災プロジェクト」参加団体より、防災への取り組みについてお話いただきます。



## (公財) とよなか国際交流協会 子どもたちの「こころを育む活動」 「たぶんかミニとよなか」が奨励賞受賞!

パナソニック教育財団が、全国各地で実践されている「子どもたちの「こころを育む活動」」の事例を募集し、優れた活動を表彰して広く紹介する全国運動に、(公財)とよなか国際交流協会の取り組み「たぶんかミニとよなか」が応募、選考の結果、奨励賞受賞しました。

「たぶんかミニとよなか」は、2010年度からの取り組みで、多文化な子どもたちを中心に、子どもたちだけで自分たちの理想のまちのアイデアを出しあい、住みたいまちのイメージを形にしていきます。お店や銀行、市役所などをつくって、実際にそのまちで働くワークショップでは、「ミニとよなか」オリジナルの通貨をつくってお給料ももらいます。

「たぶんかミニとよなか」は、これまで協会が取り組んできた子どもサポート事業(子ども母語、サンプレイス)の活動で築きあげられた、子どもとボランティアとの信頼関係、ボランティアの子どもに対する熱意、そして子どもたちの潜在的な力が発揮される場であり、今回の受賞は、こうした地道な活動が高く評価された結果であると考えます。これを活かし、今後も「たぶんかミニとよなか」や子どもサポート事業をさらに発展させていきたいと思っています。みなさまも今後とも応援、ご協力をよろしくお願いいたします。



## (特活) とよなか市民環境会議アジェンダ21 豊中市環境交流センターの指定管理者に決定!

阪急曽根駅から北へ高架沿いに歩いていくと、豊中市立リサイクル交流センターがあります(写真)。

この施設は開設検討段階から民間による運営が掲げられていましたが、2005年の開設以降、豊中市が直接運営してきました。また、施設の実施内容がわかりにくいことなどから、来場者が少ないといった課題も挙げられていました。

そうした課題の解消と、当初からの計画を実施するため、豊中市は名称と内容を環境交流センターに変更し、施設を運営する指定管理者を募集。とよなか市民環境会議アジェンダ21では、豊中市内の環境プラットフォームを掲げる組織として、施設運営が組織のさらなる発展の機会と考えて応募。書類・面接審査の後、議会の承認を経て、当団体が指定管理者に決定しました。指定管理は2013年4月から5年間です。

今回の募集では、全部で5団体が応募し、そのうち当団体以外はすべて豊中市外の事業者でした。その中で当団体が選ばれたからには、地域で活動する組織として、市民の皆さんに親んでもらえるような施設運営に取り組んでまいります。また、共同デスクの各団体や、各団体の運営する施設と、これを機にさらに連携していきたいと思っております。



## (特活) とよなか市民活動ネットきずな 市民活動情報サロン運営に応募しない判断

2012年度も、あと2ヶ月ばかりとなりましたが、「きずな」が、豊中市市民活動情報サロンを運営受託して10年ほど経過しました。

同じ団体が長期にわたって一つの施設を運営していると、どうしてもマンネリ化の弊害が出がちです。いろんな団体が、いろんな視点で、それぞれの持ち味を活かした市民公益活動を展開し、市民生活に役立ってほしい。 「きずな」も、これまでのサロン運営で学んだことを活かし、新たなステージでの市民的公益活動を模索してみたい。そう考えて、次期の市民活動情報サロン運営に応募しないという判断をしました。新たに受託される団体がどのようなサロン運営をしていただけるのが楽しみです。

「きずな」は、これまでに培った多様なネットワークを活かし、市民・団体の「触媒」的役割を、体力に合わせて果たしていきたいと考えています。「民」の自由度をもって、NPOや「新しい公共」の可能性を引き続き模索していきたいと思っております。

※ この壁新聞は、5つの中間支援団体のとりくみを、分野をこえて情報発信しようと考えた取り組みです。